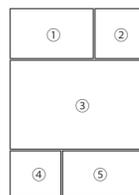


実践しちゃってます！
「自分で作ろう」「DIYしちゃおう」

昨年末の「CRAFT BASE」で「空きアパートの1室でDIY&リノベーションを進めています。」とご案内しました。本号では、このお部屋のお披露目します！

実は、私はこのお部屋で暮らしていません(笑)。このお部屋は、木造賃貸アパートの2階です。構造部分を残して、押し入れ、間仕切り壁、天井を全て撤去しました。柱や梁、そして筋交いは現しのままにして、床と壁に合板を貼ってシンプルに仕上げられています。大工さんに協力してもらって造作のデスクもつくりました。デスク上部は天井でデスクスペースになった空間をロフトとして活用し、くつろげるようにネットハンモックを設置しました。ネットは視界を妨げることがなく、光も入ってくるので、空間が広く感じられるのです。

それと、このお部屋には「物を隠して収納する場所」押し入れとかクローゼットがありません。洋服は、壁の合板に金物を取り付けたオープンクローゼットです。本や小物などは、壁(合板)に好きな素材のフックや金物を取り付けてディスプレイしています。これは壁を合板で仕上げたことのメリットです。



- ① 食器棚
- ② キッチン廻り
- ③ リビング+寝室
- ④ デスク上部 (もとは天井)
- ⑤ オープンクローゼット

感じの良い店には、感じの良い「人」と「モノ(サービス)」が共存しています。「感じの良いお家」には、「感じの良い人」が暮らしています。この「感じの良い「人」と「モノ」が調和して空気のように漂う気持ちの良さ」が「いい感じ」です。人が「安心感」や「やすらぎ」を感じたり、「ああ、ここはなんとなく落ち着く場所だな」と感じる時、そこには「人」と「モノ」が調和した空気が流れているはずなんです。

そして、自分でDIYした空間で暮らしていると、「ああ、これが私のスタイルなんだ」と感じることもあります。小物、机やインテリアなど、自分で考えてカタチにした暮らしには、豊かな時間が流れます。それは「自分でつくる」という行為の中に、「自分の思い」作り上げた時間、そして「自分と向き合って成し遂げた達成感」が宿るからだと思えます。

自分が楽しめるコトを、遊び心を持って実践する。何かをしてみ、想定外のドキドキを楽しむ。そんな心の動きを味わうことがDIYの本質。これは試行錯誤しながらやってみるといえます。この感覚は、「CRAFT BASE」を通じて知りあった方々に共通していること。

皆さんも、DIYでワクワクしませんか。

DIY × 木賃アパート 実践編

「実践しちゃってます！」
「自分で作ろう」「DIYしちゃおう」

昨年末の「CRAFT BASE」で「空きアパートの1室でDIY&リノベーションを進めています。」とご案内しました。本号では、このお部屋のお披露目します！

実は、私はこのお部屋で暮らしていません(笑)。このお部屋は、木造賃貸アパートの2階です。構造部分を残して、押し入れ、間仕切り壁、天井を全て撤去しました。柱や梁、そして筋交いは現しのままにして、床と壁に合板を貼ってシンプルに仕上げられています。大工さんに協力してもらって造作のデスクもつくりました。デスク上部は天井でデスクスペースになった空間をロフトとして活用し、くつろげるようにネットハンモックを設置しました。ネットは視界を妨げることがなく、光も入ってくるので、空間が広く感じられるのです。

欲しいものは、自分でつくる。

すね。なにせ壁の全てが棚やディスプレイになるのですから、嬉しい限りです。

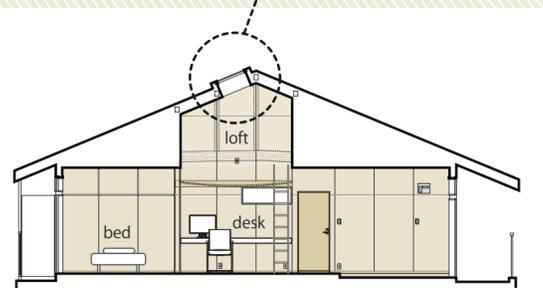
REVIEW THE PLAN

私が住んでいるこのお部屋は、木造賃貸アパートの2階の一室です。ダイニングキッチン(7畳)、洋室(7.5畳)、和室(6畳+押し入れ)の計20.5畳のお部屋を、構造的に必要な柱や梁を残して、キッチン+土間(3.5畳)を確保した上で、残りは1ルームの洋室(22畳)にリノベーションしました。2階建てのアパートなので、天井を抜いて吹抜けにしてLoftのような空間を設けました。なんとトップライトも設置しちゃいました。

工事は「CRAFT BASE」の母体であるコスガ工務店が行いましたが、「あれをしてはいけない」「これをしてはいけない」という制約をとことん排除した結果、満足のいくお部屋となりました。皆さんも自分の暮らしを楽しむDIYを応援しますので、ご興味ある方はご連絡ください。

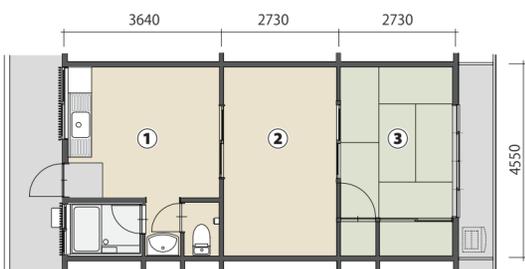


トップライト



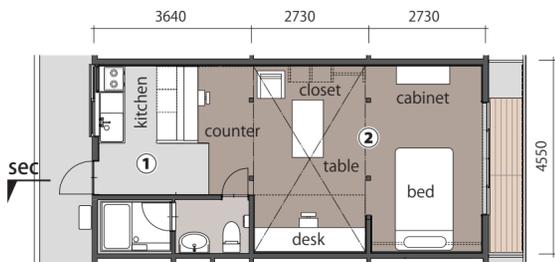
section

Before



①ダイニングキッチン(7) ②洋室(7.5) ③和室(6J+押し入れ)

After



①キッチン+土間(3.5) ②洋室(22)



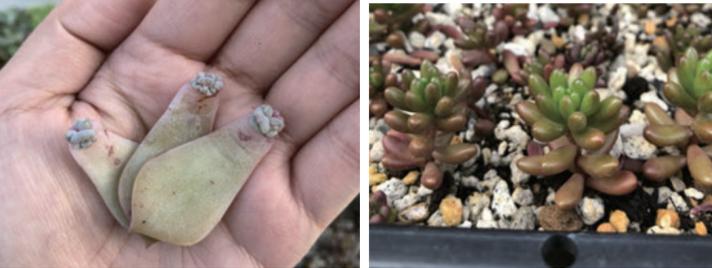
Nishitokyo CRAFT BASE

〒202-0014 西東京市富士町4-5-15
TEL: 042-461-4943

保谷富士町郵便局
Family Mart
珈琲茶館「珈風絵」
一笑らーめん東伏見支店
西村カメラ駅前店
Family Mart
東伏見駅
三浦屋東伏見店
● 東京都民銀行
● ふとんの中屋
● 保谷ハウジング
ダイドードリンコ
アイスアリーナ

craft-base.com





Succulent plants



INTERVIEW

多肉植物を愛してやまない 長谷川ゆかりさん

多肉植物は、ぶつくりとした感じがカワイくて、みているも飽きない、すごく愛らしい植物です。

最近では、多肉女子という言葉もあるくらい多肉植物の魅力に取り憑かれた人が増えていきます。私の一人ですが、ご近所さんでも見つけちゃったんです！

という訳で、今回は多肉植物を愛してやまない「長谷川ゆかりさん」をインタビューしました。（小菅亜実）

小菅 多肉植物を育て始めたきっかけは？

長谷川 今の住まいでは、土をいじれる場所が屋上にしかなくて、それで最初は屋上でお花を育てていたのですが、虫や風の影響で悲しいことがたくさんあったんです。それで、「多肉だったら大丈夫かな」と思って、少しずつ育て始めました。多肉植物って、葉っぱ一枚から根っこが出てきたり、枝をホキッと折って土にさしておけばそこから成長するので、面白いくらいどんどん増えていくんです。それが癖になって、増やしていくことがやめられなくなってしまいました（笑）。

小菅 なるほど（笑）。暮らした中に緑があることについてどのように考えていらっしやいますか？

長谷川 その植物に合った環境を見つけてあげようと思うんですね。多肉植物もお花も鉢植えですので、あっちに持っていったり、こっちに持っていったり、外に出したり、室内に入れたり、季節や天候によって移動させているんです。あまり日が当たらない家の中も、玄関も、屋上も、ちょっとずつ環境が違っていますので、移動させてあげると一番落ち着く場所があるんです。その植物にとって、成長していきける場所がある。何でもかんでもお日様が当たらなくてはいけないと言っただけではなく、半日陰の環境の方がよく育つ植物もあるんです。そういうことを見つけてのが好きなのかもしれません（笑）。弱ってしまっただけを元気にするため、おうちに入院させてあげることもあるんですけど、例えば、風が強くなってきた時や雨が降り出した時などは、真っ先に植物たちを移動させてあげなきゃって思っちゃってますよ。

小菅 それって植物といつよりもペットや動物のような感じですかね。

長谷川 自分では意識していませんが、そういうことも少しはあります（笑）。

長谷川さんと出会いは、1年くらい前の「CRAFT BASE」でのイベントがきっかけでしたね。

小菅 子供の造形教室ですか！

長谷川 はい、20年くらい前から自宅の細々とやっています。生徒さんは、幼稚園くらいの子供から大きい子は高校生まで。

小菅 高校生ですか、すごいですね。

長谷川 違うんですよ。幼稚園くらいからずーっと通っていた子供が今は、高校生になったということです。以前は、大学生になつても来ていた子がいたんです。でも今は、多肉植物に力を入れていきますので、生徒さんの新規募集は行っていません。

小菅 さつぷなんですね・・・。

長谷川 でもね、教室に通ってくれていた子供のお母さんたちから「長谷川さんは多肉植物に詳しい」ということが少しずつ口コミで広がっていったから今の私があるんだと思います。最近では、「多肉の長谷川さん」とみたいな感じで、多肉の寄せ植えを美容室に置かせてもらったり、イベントやサロンでワークショップをやらせてもらったり、オーダーを受けてギフト用の寄せ植えをつくったりしています。

私が「CRAFT BASE」をつつた理由は、ものづくりをしているご近所さんたちとつながりたかったからです。

小菅 おかけさまで長谷川さんと出会って、今日の取材が実現しました。これは私にとってはすごく嬉しいことです。

長谷川 私も小菅さんと知り合って、つながりが一気に広がりました。これまで20年くらい西東京に住んでいて、少しずつ広がってはいましたが、「CRAFT BASE」を通して、一気に外に広がった感じがします。この歳になると、大人の方との新しい出会ってなかなかないけど、最近では、大人の方との新しい出会いがたくさんあります。「西東京でも同じ様な価値観を持った人がいるんだ」ということが嬉しくて、同じ場所に居られることが幸せです。

小菅 私も同じ気持ちです。「CRAFT BASE」にチャレンジしなければ、つながらなかつた訳ですから。これからも一緒に楽しんでいきましょうね。

①	②
③	④
⑤	⑥

① ポロっと取れた1枚の葉っぱからも芽が出て育ちます
② 季節によって、紅葉したり緑が濃くなる虹の玉
③ 長谷川さんのマンションの玄関脇にある多肉植物たち
④ woodのフラワーポットによく映える、存在感抜群の黒法師
⑤ 寄せ植えした多肉ちゃんたち
⑥ どんどん増える乙女心、子宝草、美空の鉢（左から）

長谷川ゆかりさんは、東伏見駅近くのご自宅でも多肉植物を育てています。プレゼント用の寄せ植えやワークショップのご依頼など、多肉植物に関するご相談やご依頼は、042-461-4943（CRAFTBASE/コスガ工務店内）までご連絡ください。

Event report

今年の春は、5つのイベントに出店したよ！

4/14は隣駅にあります西武柳沢のせせらぎ公園で行われた「やぎざわマーケット」に初参加。西武柳沢は東伏見の隣の駅で距離もかなり近いです。子供の頃からよく遊びに行っていたので、「知っているまち」のつもりでしたが実際にそのまちのなかで住んでいる人と接してみると東伏見は「よく知らない」「何があるの?」と色々聞かれました。自分の「まち」として認識できるのはそんなに大きな範囲ではないんだということも体感で来たイベントでした。

4/21は西武柳沢にありますベール屋さん「M's oven」さんの1周年記念マーケットに出店。人気店だけあって11時のオープン前にはたくさん行列。午前中からかなり気温が高くて日差しも強かった為、準備した水出しアイスコーヒーがとっても好評でした！翌22日は地元東伏見のギャラリーTSUKASA

で「つながる結いまる ビューティ&クラフトマルシェ」に出店。この日は西武柳沢にある「Biscuitta」さんに協力いただき、シフォンケーキとビスコッティの販売もさせて頂きました。この日も快晴でしたが、前日と違って変わってアイスカフェオレが大人気。

5/2は立川のスマイルキッチンさんで「つくるひと Vol.9」に出店。会場は、砂川七番駅から歩いて10分弱の住宅街の中にいきなり現れる雑木林。そのなかにポツンと佇む木の空間が今回の会場。ものづくりの人たちの愛が詰まった素敵なイベントでした。

5/5は恵比寿ガーデンプレイス「グリーンズのミドリ市」に出店。今回はトークショーもあり、たくさんの方の前でgreenzスタッフの正太郎さんとトークセッションを行いました。いや、緊張しましたよ（笑）。

今年の春は結構忙しかったです（苦笑）。当日ご来場くださいました皆さま、ありがとうございました。また、お会いしましょうね！



4/14:西武柳沢せせらぎ公園「やぎざわマーケット」に出店（ワークショップ・雑貨販売）



4/21:西武柳沢ベール屋さん「M's oven 1周年記念マーケット」に出店（カフェ出店）



4/22:東伏見ギャラリーTSUKASA「つながる結いまるクラフトマルシェ」に出店（カフェ出店・雑貨販売）



5/2:立川スマイルキッチン「つくるひと Vol.9」に出店（ワークショップ・雑貨販売）



5/5:恵比寿ガーデンプレイス「グリーンズのミドリ市」に出店（雑貨販売）